



【高等部第Ⅲ期産業現場等における実習】

11月13日(月)～11月24日(金)までの9日間、第Ⅲ期産業現場等における実習を実施しました。1学年から3学年までの84名の生徒が外部での実習に参加しました。

一般企業22社、福祉サービス事業所38箇所の御協力のもと、校内では味わえない貴重な経験をすることができました。

1学年の生徒は、初めての校外実習で、緊張する様子も見られましたが、次第に慣れて自分から話せるようになったり、落ち着いて行動したり、仕事に集中して取り組んだりすることができるようになりました。また、働くとはどんなことなのかを実感することができました。

2学年の生徒は、職種や進路先の幅をより広げるために、以前とは異なる実習先で実習を行い、それぞれの立てた目標を達成するために努力することができました。

3学年の生徒は、具体的な進路先の決定に向けて、就労先の確保やより本人に対する理解の拡充を目指した実践的な実習となりました。

1人1人の希望する進路実現へ向けて、引き続き、御支援・御協力よろしくお願いたします。



一般事業所
COOP-VALUE
しおかわ店



就労継続支援A型事業所
キープオンカンパニー
株式会社 MARC



就労継続支援B型事業所
有限会社ビパネットピーターバン
ハンディサービスセンター



生活介護事業所
特定非営利活動法人
夢あるき 夢の樹こもれび

【教職員セミナーの報告】

令和5年10月3日(火)に教職員進路セミナーが行われました。「生活介護事業所における就労及び、障がい者グループホームにおける生活と、在学中に身に付けておく力について」というテーマで、「合同会社エフケイ共同社生活介護事業所エフケイ」代表の船木健史様にお話をいただきました。

お話の中で、生活介護事業所における就労や、障がい者グループホームにおける生活について一日の流れや送迎範囲、利用料金など、具体的に説明いただき、卒業後の生活を詳しくイメージすることができました。セミナーに参加した教職員からは、「生活介護事業所の実際が詳しく聞けて良かった。」「グループホームでの生活がどのようなものであるかが分かった」などの感想が寄せられました。本セミナーで得た成果を今後の教育活動に生かしていけるように取り組んでいきます。



【高等部第Ⅲ期校内実習の報告】

11月13日（月）～24日（金）までの9日間、校内において「会津支援学校高等部工場」として実習を行いました。今回の実習では、外注作業において、第Ⅰ期に引き続き本校小学部の保護者である星様のご厚意により、ほしばん絵ろうそく店の「説明書箱入れ」、割烹田季野の「箸入れ」、東邦銀行滝沢支店より「カレンダー丸め」、江川米菓店より「煎餅シール貼り」を始め、障がい福祉サービス事業所キッチンモモより「箸入れ」の仕事を頂き、実施しました。その他にも第Ⅰ期同様に再生紙リサイクルメモ帳作成活動も行いました。数多くの企業、事業所の方々の御協力により、充実した校内実習ができました。ありがとうございました。

第Ⅲ期は1年生も校外で実習を行う生徒もいるため、校内での実習を行う生徒は毎日10名前後でしたが、校外での実習同様に緊張感をもって、真剣な眼差しで取り組む姿が印象的でした。第Ⅰ期校内実習の時よりも「集中力」が高まり「挨拶」もとてもよくできていました。小さな一歩でも確実に積み重ね続けることが後々大きな自信と力にと実感できた実習でした。今回の反省を生かし、次年度の産業現場等における実習や校内実習に取り組んできてほしいと思います。



「煎餅シール貼り」



「カレンダー丸め」



「箸入れ」

【中学部第Ⅱ期校内実習の報告】

11月13日（月）から5日間、第Ⅱ期校内実習が行われました。ペットボトルの分別や、松本家の菓子箱を折る仕事など、5つの班に分かれて実施しました。仕事がうまくいかず気持ちが落ち着かなくなってしまう生徒もいましたが、「大丈夫だよ。一緒にがんばろう。」と言葉を掛け、お互いに励まし合う姿が見られました。自分の作業に見通しをもち、自主的に取り組むことができている生徒が多くおり、第Ⅰ期からの成長が見られた実習でした。これからも、目標をもって取り組み、課題に気づき、自ら考えて解決する力を育てていきたいと思います。

〈報告会での生徒の声を紹介します〉

「ぼくは、箱折りの時に、人差し指の力加減が難しく、たくさんしわがつかってしまいました。いろいろなやり方を試して、人差し指を使わないでやったらしわが付かないことに気付きました。きれいに折れてうれしかったです。」



「チラシ折り」



「校内実習報告会の様子」